



株式
会社

鳥羽洋行

先端技術で社会と産業の進化を支える

第**59**期

報告書

JASDAQ

証券コード:7472

2007年4月1日>>>2008年3月31日

最新の商品、技術 及びサービスの提供

株主の皆様には、
ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、格別のご高配を賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。
ここに、当社第59期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）の
報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。



| 当 期 | の | 概 | 況 |

当事業年度（以下、当期という）における内外経済を顧みますと、世界経済におきましては、原油及び原材料価格の高騰や米国における住宅融資の焦げ付き問題に端を発する金融不安の影響が世界的な景気減速感を引き起こしております。また、国内経済におきましても、当期前半では緩やかな拡大傾向が続いておりましたが、後半に至って急激な円高及び原油・原材料価格の上昇の影響で個人消費意欲が低下するなど今後の景気の見通しに不安要素が増大しております。

このような環境下、当社の関連する主要な業界におきましては、デジタル家電業界の設備投資は、デジタルカメラ、液晶、プリンタ等の売れ行きが良好で、概ね好調に推移しておりました。一方、半導体関連業界の設備投資は、DRAM価格の低下及び在庫調整等の影響で企業間の好不調のバラつきが目立ちました。さらに、自動車・車載部品関連業界におきましては、国内における新車販売の減少が続いた影響で設備投資はやや低調でありました。

以上のような状況の下で、当社は、営業面におきましては、当期より国内の主要な拠点に新規開拓専任者を配置して新たな有力ユーザーの開拓に努めました。さらに、国内外のユーザーの省力化及び合理化ニーズの高まりに応じてロボット及び関連機器の販売拡大を積極的に行うとともに、昨今の世界的な環境問題に対する取り組みニーズの拡大傾向から、環境

にも配慮した商品を提供するなど高付加価値商品の拡販にも努力してまいりました。また、管理面におきましては、平成20年度からスタートする「内部統制監査」にも適応した管理体制の構築を目指し、社内規程の再整備、並びに、その規程に則った業務処理の再徹底を図ることにより業務効率が改善し、社員全員のコスト意識を高めることができました。

以上の結果、当期の売上高は前年同期比0.5%減の258億円、営業利益は前年同期比1.2%減の21億15百万円を、経常利益は前年同期比0.6%増の22億51百万円、当期純利益は前年同期比7.3%増の12億86百万円を計上することができました。

なお、当社は平成20年12月14日をもちまして、設立60周年を迎えます。これもひとえに株主の皆様をはじめ関係者各位の長年のご支援ならびにご指導の賜物と感謝申し上げます。

つきましては、株主の皆様のご厚誼にお応えするため、当期の期末配当金につきましては、普通配当金60円に設立記念配当金20円を加えまして、1株当たり80円を第59回定時株主総会でご決議させていただきました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月
取締役社長 三浦直行

当社は、空気圧機器、電子機器などの制御機器をはじめ、ロボット等のFA機器、産業機器を国内外の有力なユーザーへ販売する機械工具の専門商社です。そのため、業務範囲は幅広く、コンサルティングから分析、提案、製品納入、アフターサポートまで一貫して行い、産業のあらゆる場面に及んでいます。

当社の課題及び方針

当社が対処すべき課題といたしましては、第一番目に、いかなる経営環境でも利益を上げられる体制を構築することです。今後の営業展開を図るために、当期より国内の主要な拠点に新規開拓専任者を設置して、当社の営業基盤を強固にするための営業活動を行っております。また、来期（60期）からは、海外の輸出の強化を図るため、海外営業部を新設いたしました。

二番目は、「営業の効率化」及び「内部統制監査」への対応を図るためのシステム関係の再強化であります。この課題につきましては、当期より社内で準備体制を整え、「第5次システム」確立に向け進行中であります。

三番目は、「人材の育成及び確保」であります。当期におきましては、大学新卒者9名を含め合計22名を採用い

たしました。また、外部機関が開催する研修会への受講を定期的に推進するなど、管理職及び中堅社員のマネジメント能力向上を図るため、社内外における教育研修を計画的に行っております。

そのほか、法令順守のための「コンプライアンス教育」を継続的に行い、また、適正な株価形成に役立つためのIR活動には特に注力し、個人投資家向け会社説明会を定期的を実施するとともに、機関投資家などを訪問して個別に会社説明を行うなど、広角度でのIR活動を行っております。

これらの課題を確実にクリアして行くことにより経営基盤を安定させ、株主の皆様のご期待にお応えできるよう全社員で取り組んでまいります。

当社の活動の紹介

当社は、ユーザーの生産設備計画などを初期段階から把握し、生きた情報を仕入先のメーカーにフィードバックして、ユーザーニーズにお応えする体制をとっています。

これらのメーカー様と当社は、「鳥羽ミドリ会」という親睦会を設立し、毎年定期的に会合を開催しています。この「鳥羽ミドリ会」をベースに、お互いの情報を交換することにより、ユーザーサービスの向上を図っております。

平成20年3月をもちまして、この「鳥羽ミドリ会」も第10回目を迎えることができました。



（「鳥羽ミドリ会」平成20年3月）



制御機器

生産工場の構成には
欠かせない

当部門は、空気圧機器、真空機器、流体継ぎ手、圧力センサー、電子センサーなどで構成されており、主として実装機、デジタル機器、半導体製造装置、自動車・車載部品などの得意先へ販売しております。半導体関連及び自動車・車載部品関連業界等の設備投資がやや低調であったため、売上高は前年同期比10.3%減の106億99百万円となりました。

FA機器

工場の自動化・
コストダウンを実現

当部門は、ロボット、自動組立機、チップマウンター、レーザー加工機などで構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、OA機器、基板実装などの得意先へ販売しております。前期に引き続き、ロボット機器及びレーザー加工機の販売が伸びた結果、売上高は前年同期比14.9%増の113億79百万円となりました。

産業機器

生産組立て作業に
使用されている

当部門は、電気ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、環境システムなどで構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、医療などの得意先へ販売しております。半導体関連向けのアルミフレーム等が伸び悩んだ結果、売上高は前年同期比9.5%減の37億20百万円となりました。

売上高

当期 平成20年3月期



- 制御機器
10,699百万円 (41.5%)
- FA機器
11,379百万円 (44.1%)
- 産業機器
3,720百万円 (14.4%)

前期 平成19年3月期



- 制御機器
11,927百万円 (46.0%)
- FA機器
9,900百万円 (38.2%)
- 産業機器
4,109百万円 (15.8%)



5ポートソレノイドバルブ
SMC(株)

ガイド付ジグシリンダー
(株)コガネイ



ロータリーダンパー
不二ラテックス(株)

新製品 アイプラズマ

「大気圧プラズマ洗浄装置」

松下電工
マシンアンドビジョン(株)



垂直多関節ロボット
(株)デンソーウェーブ

マウンター
ヤマハ発動機(株)



レーザーマーカー
ミヤチテクノス(株)



レーザーセンサ
SUNX(株)



平成19年11月27日

◇第59期中間決算第2四半期会社説明会
(日本証券協会大阪証券教育広報センター主催、個人投資家向け)
：大阪朝日生命ホールにて

平成20年1月19日

◇第59期第3四半期会社説明会(個人投資家向け)
：福岡アクロス福岡にて

平成20年3月3日～5日

海外機関投資家個別ミーティング

平成19年11月27日
大阪朝日生命ホールにて



電動ドライバー
(株)ハイオス

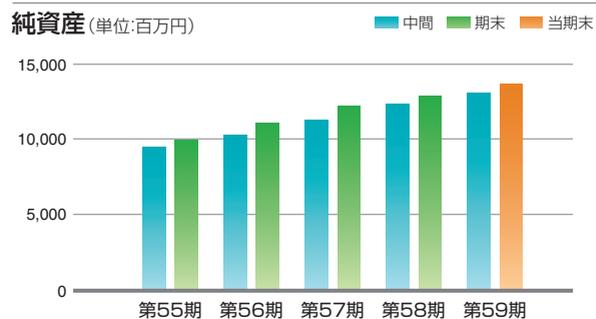
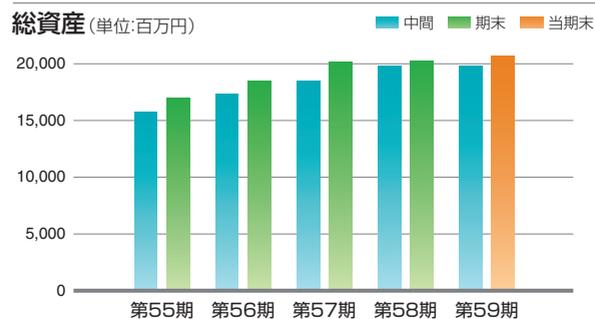
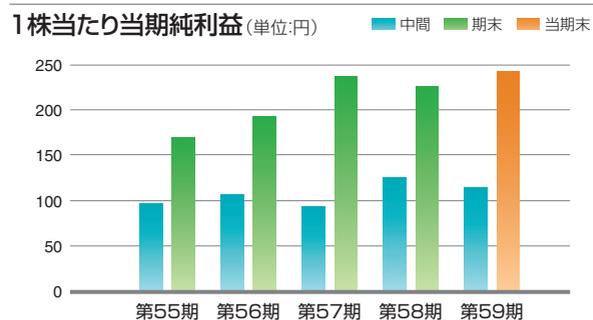
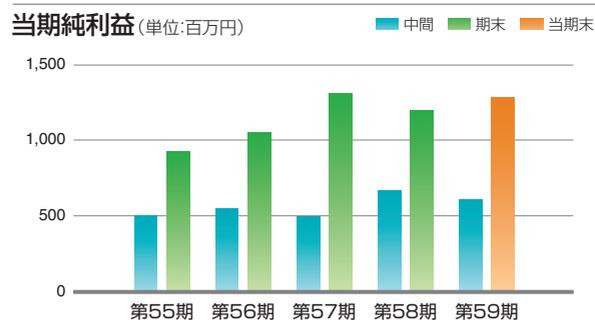


コンパ
三機工業(株)



無人搬送車
(株)タクマ精工

当社は、今後もあらゆる機会を活用して、より広範囲にIR活動を展開し、多くの投資家に当社の内容をご理解いただくよう努めてまいります。



貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (平成20年3月31日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)	科目	当期 (平成20年3月31日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	15,787,511	16,178,185	流動負債	6,597,780	6,751,933
現金及び預金	5,002,061	6,486,793	支払手形	2,059,158	1,973,737
受取手形	1,970,957	1,859,937	買掛金	3,641,434	3,840,910
売掛金	8,501,576	7,531,627	一年内償還予定の社債	80,000	80,000
商品	70,586	84,081	未払法人税等	455,094	537,255
繰延税金資産	112,957	118,455	賞与引当金	150,000	170,000
その他	129,371	98,256	その他	212,092	150,028
貸倒引当金	—	△967	固定負債	401,711	592,435
固定資産	4,854,905	4,047,129	社債	120,000	200,000
有形固定資産	2,181,846	2,230,831	長期未払金	135,588	—
建物	762,748	808,740	繰延税金負債	121,997	166,105
土地	1,399,385	1,399,385	退職給付引当金	—	173,579
その他	19,712	22,706	役員退職引当金	24,125	52,750
無形固定資産	18,839	12,805	負債合計	6,999,491	7,344,369
投資その他の資産	2,654,219	1,803,492	純資産の部		
投資有価証券	891,454	554,634	株主資本	13,545,809	12,683,709
長期性預金	1,500,000	1,000,000	資本金	1,148,000	1,148,000
その他	262,995	249,683	資本剰余金	1,261,059	1,261,059
貸倒引当金	△230	△826	利益剰余金	11,136,749	10,274,649
資産合計	20,642,417	20,225,315	評価・換算差額等	97,116	197,236
			その他有価証券評価差額金	97,116	197,236
			純資産合計	13,642,926	12,880,946
			負債及び純資産合計	20,642,417	20,225,315

損益計算書		(単位:千円)	
科目	当 期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	前 期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	
売上高	25,800,629	25,938,144	
売上原価	21,500,481	21,647,415	
売上総利益	4,300,148	4,290,728	
販売費及び一般管理費	2,184,289	2,149,787	
営業利益	2,115,858	2,140,941	
営業外収益	143,799	106,289	
営業外費用	8,350	9,626	
経常利益	2,251,307	2,237,604	
特別利益	1,037	662	
特別損失	13,567	119,784	
税引前当期純利益	2,238,777	2,118,483	
法人税、住民税及び事業税	922,600	933,600	
法人税等調整額	30,077	△13,734	
当期純利益	1,286,100	1,198,618	

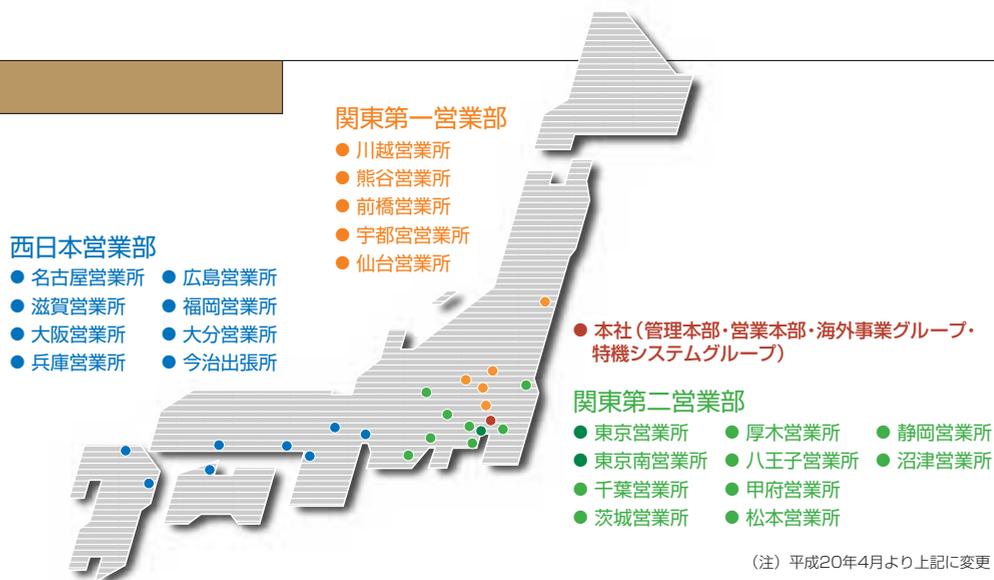
会社概要

社名	株式会社 鳥羽洋行 (英文表記 TOBA,INC.)
本社	東京都文京区水道2丁目8番6号
設立	昭和24年12月14日 (創業：明治39年9月15日)
資本金	11億4,800万円
事業内容	制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類等の販売および輸出入。 上記に関する生産設備効率化のためのコンサルタント。 機械工具器具とその部品類の加工販売および輸出入。
従業員数	200名 (男性：144名 女性：56名) (平成20年3月末現在)

役員

代表取締役社長	三浦直行
常務取締役	藤原茂夫
取締役	鶴川健
取締役	遠藤稔
取締役	鳥羽重良
取締役	松永健一
取締役	尾関真一郎
常勤監査役	尾日向宏
監査役	上田正
監査役	池田圭介
監査役	金森浩之

営業ネットワーク

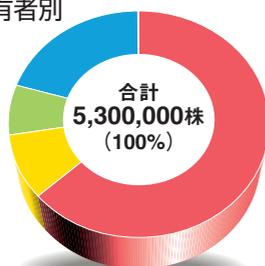


株式数及び株主数

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式総数	5,300,000株
株主数	2,472名

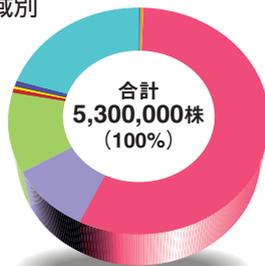
株式数分布状況

所有者別



個人・その他	3,350,092株 (63.20%)
金融機関	485,500株 (9.16%)
その他国内法人	380,500株 (7.17%)
外国人	1,075,600株 (20.29%)
証券会社	8,308株 (0.15%)

地域別



北海道	10,401株 (0.19%)
東北地方	22,700株 (0.42%)
関東地方	2,987,345株 (56.36%)
中部地方	505,910株 (9.54%)
近畿地方	606,116株 (11.43%)
中国地方	28,422株 (0.53%)
四国地方	20,400株 (0.38%)
九州・沖縄地方	43,006株 (0.81%)
国外	1,075,700株 (20.29%)

株主優待制度変更のお知らせ

当社は、株主優待制度につきまして、今期より内容を変更いたしました。

制度の変更の内容は、下記のとおりであります。

変更の内容

所有株式区分	1,000株以上	100株以上1,000株未満
変更前	安曇野産コシヒカリ 3,000円相当	オリジナル図書カード 1,000円相当
変更後	オリジナル・クオカード 3,000円相当	オリジナル・クオカード 1,000円相当



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領 株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
単元未満株式の買取	上記株主名簿管理人にて取扱います。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関する手続き用紙のご請求について

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

- フリーダイヤル0120-87-2031 (24時間受付:自動音声案内)
- ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html



株式会社 鳥羽洋行

〒112-0005 東京都文京区水道2丁目8番6号 ☎(03)3944-4031
<http://www.toba.co.jp/>